



特集

親子で考える 新潟へのUターン

親の本音と子どもの本音
 自分の思いを伝えて
 話し合ってみませんか？

進学や就職でお子さんが県外で暮らしている親御さんも多いのではないのでしょうか。コロナ禍をきっかけにライフスタイルや生活に対する意識が変化してきています。今こそ親子で将来、地元新潟で暮らすことについて話し合ってみませんか？

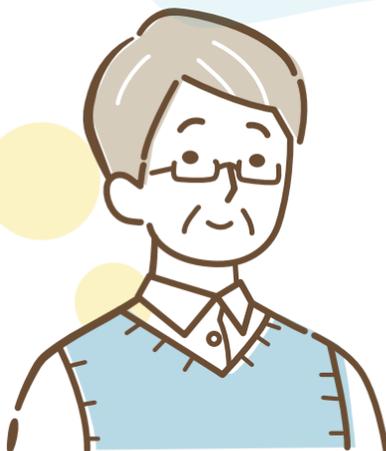
「帰ってきて」とは
 言えなくても
**私が思う新潟の良さを
 話してみても
 いいのかな**

親の本音
 本当は
近くにいてほしい

子の本音
 いつかは
新潟に帰りたい

子育てするなら
**自然豊かな
 新潟でのびのび
 育てたい**

プレッシャーを
 与えたくないけど
**家業を
 継いでほしい**



都会は刺激があって
 楽しいけど、
**あの頃には
 分からなかった魅力が
 新潟にはたくさん
 あるかも**

孫の面倒を見るとか
**いざという時に
 助けてあげられるし**



戻らないって
 思ったけど
**今の職場で
 働き続けるのは
 どうなのかな**

自分の考えを
 押し付けたくないけど
**県内で暮らして
 くれたら安心**

「いつでも
 帰っておいで」
 のひとことを
 待っているかも



新潟県知事 花角英世

新潟県へのU・Iターン

この2年余り、新型コロナの感染拡大を契機としリモートワークの広がりなど働き方も大きく変化し、若者を中心に地方への関心が高まっているように感じます。

新潟には、恵まれた住環境、豊かな食文化、美しい自然といった多様な魅力があります。

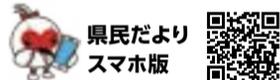
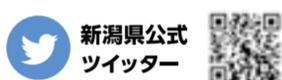
また、国内外でトップシェアを有する企業や独自技術により高い競争力を持つ企業が多く存在しています。

こうした多くの魅力がある新潟に住むことに関心を持ち、また、多くの

方が新潟で働きたいと思っただけのよう、恵まれた住環境をアピールし、起業・創業支援、IT関係企業の誘致などを通じて魅力ある働く場を多く創出することに県は取り組んでいます。

県民の皆様には、ぜひ、首都圏などに住むご親族や知人・友人と、新潟へのU・Iターンを話題にし、「新潟」の良さをお伝えいただきたいと思います。

新潟県が暮らす場所、働く場所として選ばれるよう、一緒に取り組んでまいりましょう。



Uターン経験者 & 親御さん 3組に 聞いてみました!

新潟へUターンの きっかけは?

親

case 1 新卒でUターン就職の20代 1 お互いが安心して暮らせる毎日に



伊藤 智春さん (50代 新潟市在住) 子どもは長男と長女のふたり。兄の長男は大阪の会社に就職。

薦めていました。「将来、結婚して子どもが生まれた時、近くにいれば私が手伝えるよ」とか、「東京には新幹線ですぐ遊びにも行けるし、県外の人から新潟はいいところだと言われるんだよね」といった話もしましたね。近くで見守っていて感じたのは、地元企業や就活の情報を集めることの大変さ。そんな中でも、県から送られてきた新潟での就職に関する情報が役に立ちました。高校在学中に学校を通して送付を希望するかどうか聞かれたもので、登録しておいてよかったと思いました。

普段からさりげなく新潟の良さを アピールしていました

娘の大学では、3年生になった春から新型コロナウイルスの影響で授業がすべてリモートになり、往來もしにくくなったことから、卒業まで実家で過ごすことになりました。その年の夏から就職活動が始まったのですが、私としてはやはり心配だし、コロナの流行などもあって新潟にいてほしいなと思い、新聞などで目についた企業を「新潟のこんな企業もいいんじゃない?」という感じで、さりげなく

コロナ禍に新潟で過ごした 時間にほっとしました

大学に入ったときは、就職は東京でするつもりで、2年の時にはインターンも経験していました。課題が多い学科で大変だったのですが、リモートになって実家で暮らすようになると、家事の負担がないことがすごく助かったし、家族がそばにいてくれることも安心できて、新潟でこういう暮らしをするのもいいな、新潟で就職しようかなと思うようになりました。

母から言われた言葉は、「確かにそうだよな」と思っていたけれど、関東にいたときに言われていたら素直に聞けなかったかもしれませんが、実際に新潟に住んで、良さを自分でも実感していた時に言われたことで、ずっと入ってきたのかもしれないと思います。



伊藤 春花さん (20代 千葉県→新潟市) 関東の大学へ進学し、兄と同居していたが、リモート授業が始まったタイミングで帰省。新卒で新潟市内の会社に就職。

子

case 2 転職してUターンした20代 2 親のUターン経験を踏まえてアドバイス

コロナ禍のリモート勤務で思うような仕事ができない娘

娘は大学を卒業後、関東の会社に就職したのですが、緊急事態宣言真っ盛り時期で入社式はなく、仕事はリモート、出社も1週間に1回という状況に。意欲を持って仕事に向かっているが、先輩から何も教えてもらえない環境だったようで、ひと月経った頃「このままこの会社にいるのもどうなのかな」とこぼすようになりました。ぼそっと「帰ろうかな」と言ったこともあり、「それなら帰ってきたら」と伝えましたが、回答はしなかったですね。本人のなかでも、かなり葛藤があったようです。

選択肢への助言はしても、選ぶのはあくまでも本人

娘には「糸魚川には新幹線もあるし、行こうと思えば2時間ほどで首都圏へ行けるのだから、生活の拠点は糸魚川、遊びに行きたいときは新幹線で行くという生活もいいのでは」という話もしました。私も若い頃は関東で仕事をしていた、都会にいたい気持ちは分かるので、子どもたちがそれぞれ県外に進学したときも「卒業したら帰って来い」とは一度も言いませんでした。あくまでも選択するのは子ども本人で、親にできるのは相談されたときに自分の経験を踏まえてアドバイスすることくらいですね。いまは都会で感じていたようなストレスは無く、楽しく過ごせているようで安心しています。



田鹿 勝さん (50代 糸魚川市在住) 会社経営。20代の長男と長女がおり、長男は東京で就職。神奈川県立の大学に進学した長女が2020年にUターンし、地元企業に就職。

親

case 3 結婚して子育て中の30代 3 のびのびと 子育てをしたくて故郷へ

親



若林 洋子さん (60代 見附市在住) 美容室を経営。Uターンした長男も一緒に働いている。

本人にすべて任せ、 親からは何も言いませんでした

長男は美容師として仕事に専念したいということで、上京してサロンに勤めていたのですが、いつかは新潟に帰ってくるつもりだったので、私はすべて本人に任せていたので、「そろそろ帰ってきたら」といった言葉をかけたことは一度もありませんでした。東京に行くときも、帰ってくる時も、決めたことを報告してくるという感じでした。帰ってきて一緒にお店をやってくれることで助かっていますし、安心はしました。孫と一緒に暮らしているのも、人からは「賑やかでいいね」とよく言われます。

自分のタイミングで行動させてもらえて ありがたかった

Uターンしてきたのは、ちょうど30歳を迎えたときです。いずれは新潟に戻るつもりでしたが、実際に帰るきっかけになったのは、子どもが生まれたこと。自分が育った土地で、のびのびと子育てしたいと思っていました。あとは地元にも仲の良い友人が多いので、それも戻りたいと思っていました。妻は東京出身ですが、結婚するときに、いつかは新潟に戻るつもりであることは伝えてありました。母には東京に行くと言った時も反対されなかったし、戻ると伝えたときも「いいよ」という感じ。自分のタイミングで行動させてもらえて、とてもありがたかったです。いまは家族経営だからこそですが、自分の都合で仕事の時間を決めさせてもらっています。定期的に東京に行き仕事をするので、都会の流行スタイルなども勉強させてもらっていることにも感謝しています。

子



若林 翔さん (30代 東京都→見附市) 美容師。2020年10月に家族でUターンし、実家で同居。月に1回、東京の美容室でも仕事をしています。

親子で話し合うときの大切なポイント

①子どもの気持ちを尊重し、求められたらアドバイス

Uターンや就職・転職について、心配のあまり、親が口を出したくなることもあるかもしれませんが、**人生に関わる選択を行うのは子ども自身**。本人の意思を尊重し、温かく見守ることが大切です。相談されたときには、**押し付けではないアドバイス**を送りましょう。

②最近の就職活動の様子について理解しておく

最近の就職活動は、親世代の頃とはかなり変化しています。**自己分析をのせてのエントリーシートの作成**や、採用試験では**グループ討議**がある等、内定までの道のりは大変です。そうしたプレッシャーの中で就活に取り組んでいることを理解しておくことが、お子さんと話をする上でとても大切です。

③さりげなくUターンに関する情報を伝える

新潟には**Uターンした人が活躍できる会社**がたくさんありますし、新卒、転職ともに**Uターン希望者向けのイベント**なども開催されています。そうした情報を見つけたら、さりげなく伝えておくことが親子共通の話題にもなり、お子さんが行動するきっかけにもなるかもしれません。

④交通費などの経済面で支援できることを伝える

特に県外に進学した学生が就職活動する際、新潟の企業も視野に入れるとなると県外と新潟を往復する**交通費**や**時には宿泊費**などが大きな負担となります。就活が忙しくなるアルバイトに割く時間も減るので「交通費や宿泊費などは**県の支援が利用できるよ**」等と伝えることでハードルをひとつ下げることができるでしょう。

新潟で暮らす! 働く! をサポートします 固しごと定住促進課 ☎025(280)5635

Uターン相談窓口 **にいがた暮らし・しごと支援センター**

新潟県へのUターンに関するワンストップ窓口です。「暮らし」と「しごと」の両面から、一人ひとりのニーズに合わせてサポートします。社会人の方ももちろん学生の方も、書類添削を含め担当者制で個別相談ができます。



Uターン支援制度 **【県外学生の方向け】 県内就職活動等の交通費・宿泊費補助**

県内企業の説明会やインターンシップ等に参加するために来る場合の交通費・宿泊費を補助します。
補助金額 対象経費の1/2に相当する額 最大3万円(1回あたり上限1万円、年度内3回まで)

利用の流れは 1 申請書入手 2 LINE登録 3 就職活動等 4 ステップ 申請



Uターン支援制度 **【社会人の方向け】 Uターン転職者の奨学金等返還支援**

若者の奨学金返還を支援します。
対象者 県内に転入・就業し、在学中に貸与を受けた日本学生支援機構奨学金等を返還している30歳未満の方
助成金額 最大120万円(年間20万円まで、最長6年間)



新潟の暮らす・働くをめぐるマガジン 「くらはたずかん」

「あなたは どうして新潟で暮らし、働くのか?」 現役大学生が、新潟の「人」を通して若者定着の秘けつを探る

大学生が県内で暮らす・働くへ取材し、自分らしい視点で読み解いていく「くらはたずかん」。新潟を選んだ人のライフスタイルや新潟を選ぶに至る気持ちの変化等について、大学生たちの共感・疑問や考えを記事にしています。現在、noteにて公開中。ぜひご覧ください。



記事はこちらから 新潟県 学生情報発信 検索 固大学・私学振興課 ☎025(280)5267

冬季の省エネルギーにご協力ください ~この冬も 無理ない範囲で 節電・節ガス~

燃料価格の高騰による光熱費増大、電力需給の逼迫、カーボンゼロ社会実現等、身の回りのエネルギー事情が変化中、一人ひとりの省エネ活動の積み重ねがますます重要となっています。エネルギー使用量が増加しがちな「冬」に、省エネ活動を実践しましょう!



固創業・イノベーション推進課 ☎025(280)5257 環境政策課 ☎025(280)5642 省エネで光熱費も下げよう! まだまだあります! 省エネのヒントはこちら!

県からの お知らせ

2023 お出かけイベント情報

自然・ふれあい! 家族の集い 2/11(土・祝)・12(日) 餅つき、スノーパドベンチャー 定員:小中学生を含む家族25組(70人程度) 料金:3,500円(諸事情により金額の変更あり) 申込期間:1/10(水)~27(金) ◎県少年自然の家(胎内市) ☎0254-46-2224

特撰落語会 (林家たい平、桂宮治) 2/10(金) 13:30開演 料金:5席3,900円 A席2,900円 ※未就学児入場不可 ◎県民会館(新潟市中央区) ☎025-228-4481

原田 展 「かわいい」の発見 1/28(土)~5/7(日) ◎月(3/20、5/1は開演) 料金:一般1,200円 高校・大学生900円 ※障害者手帳をお持ちの方は無料 ◎県立万代美術館(新潟市中央区) ☎025-290-6655

アザレア展 2/1(水)~3/5(日) ◎月 観覧温室入館料:一般600円、65歳以上500円、高校・大学生300円、小・中学生100円(土日祝日は小・中学生無料) ◎県立植物園(新潟市秋葉区) ☎0250-24-6465

ポケモン化石博物館 3/4(土)~6/25(日) ◎火(3/21、28は開館) 料金(入館料込み): 一般1,380円(前売1,280円)、小・中学生600円(前売500円) 前売券販売:2/1(水)~3/3(金) ◎県立自然科学博物館(新潟市中央区) ☎025-283-3331

からだをつかってあ・そ・ぼ 毎月第2土曜日 10:30~11:30 サーキットトレーニング、親子運動 対象:障害児 ◎新潟ふれあ Plaza(新潟市江南区) ☎025-381-8110

第2回歴史講座 3/4(土)13:30~15:30 講師:小酒井大悟(東京都歴史文化財団) 定員:95名(申込先着順) 申込期間:2/3(金)~ ◎県立文書館(新潟市中央区) ☎025-284-6011

発掘! 新潟の遺跡2022 1/13(金)~3/21(火・祝) ◎県埋蔵文化財センター(新潟市秋葉区) ☎0250-25-3981

コレクション展 第4期 1/17(水)~4/2(日) ◎月 「近代美術館の名品」、「命脈 一命と美のつながり」、「時時雄 ビクトリアリスムへの招待」 料金:一般430円、高校・大学生200円 ※障害者手帳をお持ちの方は無料 ◎県立近代美術館(長岡市) ☎0258-28-4111

第19回マイ・コレクション・ワールド 2/4(土)~3/21(火・祝) ◎県立歴史博物館(長岡市) ☎0258-47-6130

猫の飼育方セミナー 2/19(日)13:30~15:30 定員:20名 (センターHPから申込先着順) ◎県動物愛護センター(長岡市) ☎0258-21-5501

ダイエープロビデター 2/23(木・祝) プールの無料開放、スタジオ教室の体験 ◎ダイエープロビデター(長岡市) ☎0258-39-3211

「佐渡島の金山」をフカボリ!

— 世界遺産登録への道 — ③

この連載では、「佐渡島の金山」の見どころや歴史などを毎回お伝えします。県民みんなで知識の鉱脈をフカボリしましょう! 県では世界遺産登録に向け、今後も取り組んでいきます。



「佐渡島の金山」の価値を高めている一級の資料として、佐渡金山絵巻があります。江戸時代に長期間にわたって描き継がれたもので、100点以上が伝えられています。坑道内での採掘作業から小判製造にいたるまでの工程が描かれており、当時の鉱山の仕組みや技術の移り変わりが知ることができます。そのほかにも、商店や居酒屋、子供たちの遊ぶ姿などが描かれており、当時の鉱山町の様子もうかがい知ることができる絵巻物、ぜひ県立歴史博物館をご覧ください。

掘削作業の様子



(県立歴史博物館所蔵)



文化課 世界遺産登録推進室 工藤 真斗

文化課 世界遺産登録推進室 ☎ 025 (280) 5726

詳しくはHPをチェック!



地域振興局からのお知らせ

イベントなどは急きょ中止や変更となる場合があります。詳細は各問い合わせ先にご確認ください。

足を延ばして 新潟・福島旅はいかが

水曜読んで週末行ける 新潟・会津情報を発信中!

歴史的・文化的につながりのある新潟・会津エリア(新潟市、五泉市、阿賀町、阿賀野市、佐渡市、県央地域、会津地域)。

「にいがた・あいづ GOZZO ライン“ごっつおLIFE”」では、そこで暮らす「魅力的な人々」が、地域やその人にとっての日常の「ごっつお(特別なこと)」を紹介しています。記事は毎週水曜日更新! Instagram、Twitter と合わせて、ぜひご覧ください。

ごっつおLIFE

ウェブサイトはこちら



新潟地域振興局企画振興部 ☎ 0250 (24) 7140

新潟と福島をつなぐ「只見線」で旅の思い出を

2011年の新潟・福島豪雨で大きな被害を受けた只見線が、昨年10月、11年ぶりに全線で運転を再開しました。小出駅と会津若松駅を結ぶ135.2kmの風光明媚なローカル線で、「冬の只見線」を撮影した写真が国際的なコンテストで最優秀賞に選ばれています。

「世界一ロマンチックな鉄道」と評される只見線で、のんびり「魚沼路の旅」はいかがでしょう。

魚沼地域振興局地域振興担当 ☎ 025 (792) 1303

International Photography Awards 2022) ネイチャー部門 最優秀賞 撮影者: 亀山 岳史



湯沢町・南魚沼市17のスキー場共通リフト券 ELEVEN+(イレブンプラス)登場!

湯沢町、南魚沼市の次のスキー場で最大20回の1日券*と交換できる共通リフト券を販売中。今年の冬は思う存分スキーやスノーボードをお楽しみください。*1日券×17か所分+いずれか3か所を1回ずつ利用できるフリーパス

[販売期間] 2月28日(火)まで [利用期間] 3月19日(日)まで [販売額] 48,000円 [販売数] 1,000セット

[利用可能なスキー場]

(湯沢町) 苗場スキー場、かぐらスキー場、中里スノーウッドスキー場、中里スノーリゾート、湯沢パークスキー場、岩原スキー場、神立スノーリゾート、NASPAスキーガーデン、一本杉スキー場、湯沢高原スキー場、GALA湯沢スキー場 (南魚沼市) 石打丸山スキー場、舞子スノーリゾート、シャトー塩沢スキー場、ムイカスノーリゾート、六日町八海山スキー場、八海山麓スキー場

*NASPAスキーガーデン、一本杉スキー場はスキー専用ゲレンデ



(一社)湯沢町観光まちづくり機構 ☎ 025 (785) 5505 県担当: 南魚沼地域振興局企画振興部



新潟の コメジシ

小学生のみんなから新潟のいいところを教えてください

コメジシくん 新潟のいいところを「※(コメジシ)」と名付けて、※を世界に広めるために活動中!



長岡市の県立歴史博物館の火焔土器



2年 橋詰 麻央さん

すばらしいのでぜひ見に来てください。

関川村の自宅前の風景



霧で包まれた朝焼けと稲が刈り取られたばかりの秋の田んぼです。

6年 いちこさん

アンケートに答えてプレゼントが当たる! 冬号読者アンケート

県民日より冬号についてのご意見をお寄せください。抽選で右記の賞品をプレゼント! 右のように記入して、はがき等でご応募ください。*プレゼントは選べません。

メールアドレス kenmindayori@pref.niigata.lg.jp

[締切] 令和5年2月28日(火) (当日消印有効)

[発表] 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



オモテ面 63 〒950-8570 新潟県庁 広報広聴課 県民日より冬号読者アンケート係

ウラ面 ①〒 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥興味を持った記事 ⑦内容についてのご意見など

タイムスリップ 佐渡島金山すごろく 3名



史実に関連したイベントが発生したり、歴史的建造物を建てたりしながら佐渡金山の歴史を楽しく学べるすごろくです。

只見線のペーパーコースター(3枚)とイラストレーター松本忠「湖上錦織」ポストカードのセット 10名



魚沼市の地域団体「だんだんど〜も只見線沿線元気会議」が全線再開を記念して作ったオリジナル品です。

湯沢高原ロープウェイ乗車券 10名



雪解け後、山頂の湯沢高原パノラマパークでは、展望抜群のカフェ、木漏れ日に囲まれたテラス、日本最大級のロックガーデン、ジップラインなどを楽しめます。

【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの抽選・発送および統計資料の作成に利用します。

たった一人のあなたです たった一つの命です

自殺の原因は人によって様々。気づいてください。あなたのそばの、その人に。

気づこう。



ひとりで悩んでいないで相談してみませんか

～あなたのアクションがいのちを救う～ 新潟県 ころの相談ダイヤル

受付時間 24時間 ナビダイヤル なやみ なしにいがた ☎ 0570-783-025



みなさんの声を県政に

知事へのたより

広く県民の皆さんから県政についての建設的なご意見やご提言をお寄せいただくため、「知事へのたより」専用はがきを用意しています。

設置場所 市町村役場・県地域振興局 など

電子メール: kouchou@pref.niigata.lg.jp ファックス: 025-280-5049 でも受付

県民相談室

県庁行政庁舎1階の県民相談室では、専任の職員が皆さんからの県政への相談、苦情、意見・提言に応じています。

☎ 025-280-5076 電子メール info@pref.niigata.lg.jp

統計で見る!

新潟県日本一

ハクチョウ類飛来数 21,365羽



越冬のためシベリアから飛んでくるハクチョウは、毎年10月上旬～3月下旬まで滞在している。水辺でハクチョウを見るなら、早朝か夕方がおススメ。阿賀野市にある瓢湖には、ピーク時には5,000羽を超えるハクチョウが飛来する。出典: 環境省自然環境局「ガンカモ類の生息調査」令和4年1月

横田めぐみさん・曾我ミヨシさん、そして大澤さんたちの問題は私たちの問題です。

拉致被害者全員の早期帰国を!!

新潟県

●「県民だより」は県内全世帯にお届けしています。ご近所で未着の方がおられましたら、広報広聴課にお問い合わせください。●掲載されている情報は令和4年12月現在のものです。

●視覚障害者の方向向けに、点字版、音声CD版もございます。ご家族などでご希望される方がおられましたら、広報広聴課にお問い合わせください。



県民だよりの印刷時に排出されるCO2の一部は、「トキの森」「阿賀悠久の森」「竜神の森」「十日町市ふるさと森」「南魚沼銘水の森」「魚沼わくわくの森」の整備に資金提供することによりオフセットされています。



読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。



リサイクル適性: 紙へリサイクル可 R100 古紙1.6g配合率100%再生紙を使用



商品の購入や契約に関するトラブルは 局番なし ☎ 188 泣き寝入りは「いやや!」

